
BLACK★SUNSHINE

烏丸 蜜葉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

BLACK★SUNSHINE

【Nコード】

N3649N

【作者名】

烏丸 蜜葉

【あらすじ】

「じゃ、アニキでどうかな？」デュエルアカデミア入学直後。ルームメイトとなった丸藤翔にそんな微笑ましい提案を持ちかけられた遊城十代は、「十代様と呼べエエ！」と返答する。

一体何があったんだと問いかけたくなる、腹黒太陽——ヘルカイザーより覇王より何よりDS&極悪な十代が、アカデミアという新天地で恐怖の帝王を目指す！……かもしれない。

基本的には原作のストーリーを追うギャグ展開、稀にシリアスの予定です。

Turn 1 遊戯+αを継いじった者(1) (前書き)

前書きのテンションにドン引きした人、すみません。
勢いで作りましたが、完結まで頑張ります。

Turn 1 遊戯+αを継いじった者(1)

抜けるような青空に、綿菓子のような入道雲。

見た目にも爽やかな天候の中、しかし少年の心は晴れない、らしい。

「やべえ、遅刻だ！　なんでこんな大切な日に電車が止まるんだよ……！」

赤のアンダーシャツに黒い学ランを羽織り、紅茶色の髪は寝癖がついたまま。その少年の声色からは焦りがひしひしと伝わってくる。が、続く言葉が問題である。

「電車の運転手さんと車掌さんは病院送りにしか出来なかったし、最悪だぜ……」

うん、病院送り以上って一体なんなのかな。ちょっと訊いてみたい気もするが、この小説に「残酷な描写あり」と「R15」のタグを付けたくは無いので自粛する。

「危ない！」

と、少年の前方から警告の声がかかった。

少年は急ブレーキして減速――せず、そのまま人にぶつかっていった。

ぶつかって、はね飛ばした。

「わりい！　でも急いでる俺の前に立ってたアンタも悪いよな！」失礼にも程がある台詞を残して、少年は脇目もくれずに走り去っていく。

はね飛ばされた青年はしばらく呆気にとられていたが、

(このままでは初っ端からストーリーが狂ってしまう……クロノス先生のギアゴーレムにやられてしまう！)

と我に返って声を張り上げた。

「おい、待ってくれ！　こいつが君の元へ行きたがってる！」

それでも少年が戻ってくる気配が無いので、青年は「ラッキーカー

ドだ！」と付け加えた。

次の瞬間。

地鳴りと共に少年が向かってきた。

（現金だな……）

青年は少しカードを渡す事を躊躇^{ためら}ったが、いやいや引導を渡してやるのが旧作主人公の務め、と気を取り直してカードケースを探った。クリクリと嬉しそうな鳴き声をあげるカードを取り出そうとして、青年は残りのカードも何枚か取り落としてしまった。

「おっと……」

青年が動くより先に、少年は素早くカードを拾い集めた。

あ、そこまで意地悪じゃないな流石主人公——と青年が思ったのも刹那、少年は拾ったカードを全て自分の胸ポケットにしまっていた。

「ありがとな、遊戯さん！」

「え……」

前言撤回。

ちょっと待ってそれは持っていないでー！ とデュエルキング武藤遊戯の悲痛な叫びにも応じず、少年は海馬ランドの受験会場へと先を急いだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3649n/>

BLACK★SUNSHINE

2010年10月9日18時07分発行